



2012年10月31日

楽天銀行株式会社  
株式会社三井住友銀行  
楽天Edy株式会社

**Press Release**

**「楽天Edyアプリ」、銀行口座からのEdyチャージに対応**

**－ 日常のお買い物での電子マネー決済の利便性向上を目指す －**

[http://www.rakuten-edy.co.jp/campaign/2012/1112\\_rakutenbank/](http://www.rakuten-edy.co.jp/campaign/2012/1112_rakutenbank/)

楽天銀行株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永田 俊一、以下「楽天銀行」）と株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取：國部 毅、以下「三井住友銀行」）、楽天Edy株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山田 善久、以下「楽天Edy」）は、11月13日より順次、銀行口座から電子マネー「楽天Edy」のアプリ経由でEdyチャージができるサービスを開始します。

楽天Edyが提供している「楽天Edyアプリ」は、従来型の携帯電話およびAndroid (TM) を搭載したスマートフォンを対象としたアプリで、Edyの利用で楽天スーパーポイントが貯まるサービスなどを提供しています。

従来、銀行口座からのEdyチャージは、各金融機関が提供しているアプリ経由でのみ利用が可能でした。今回、楽天IDや事前登録したクレジットカードなどからのチャージに加え、ユーザーが「楽天Edyアプリ」から銀行口座を選択し、携帯電話やスマートフォンへチャージできるようになります。また、これを機に、すでにクレジットカードで提供しているオートチャージ機能についても、銀行口座でご利用いただけるようになります（楽天銀行オートチャージ11月27日開始）。ユーザーにとってはチャージの選択肢が増え、残高不足で買い物ができなくなる不満を解消できます。

楽天銀行と三井住友銀行は、楽天Edyアプリの操作と連動して銀行口座からチャージ金額の引落を即時に行う先進的な決済サービスを提供し、今回のサービス拡充を通じて銀行口座の利便性向上を図ります。

楽天Edyは、全国のスーパーやコンビニエンスストア、楽天市場などのECサイトの約35万ヶ所で利用できる電子マネーです。昨今、スマートフォンの台数が拡大するにつれ、楽天Edyのスマートフォンユーザーは2012年9月で前年同月比約114%増加しており、本サービスを通じて楽天Edyユーザーの利用頻度が高まることを期待しています。なお、楽天Edyは、今後も全国の銀行等での銀行口座チャージを拡大する予定です。

また、本サービスを記念して、楽天銀行の口座から初めて3,000円以上のチャージをされた方を対象に、楽天スーパーポイントを100ポイントプレゼントするキャンペーンを実施いたします。

3社は、ユーザーの利便性向上を目指し、さらなるサービスや機能の拡充を検討してまいります。

## ■□ サービス概要 □■

■サービス：「楽天E d y アプリ」経由で銀行口座からのE d yチャージ

■対象となる銀行：楽天銀行、三井住友銀行

■サービス開始日

・楽天銀行：E d yチャージ 2012年11月13日（火）、オートチャージ 2012年11月27日（火）

・三井住友銀行：E d yチャージ・オートチャージ 2013年1月末（予定）

※2013年2月以降も全国の銀行等、金融機関に拡大予定

■楽天銀行・楽天E d y共同キャンペーン

・内容：楽天銀行の口座から初めて3,000円以上のチャージをされた方を対象に、楽天スーパーポイント<sup>®</sup>を100ポイントプレゼント

・期間：11月13日（火）から12月26日（水）

・URL：[http://www.rakuten-edy.co.jp/campaign/2012/1112\\_rakutenbank/](http://www.rakuten-edy.co.jp/campaign/2012/1112_rakutenbank/)

※楽天銀行でE d yチャージをご利用いただくためには、楽天会員リンク登録が必要になります。

※本キャンペーンは、E d yアプリからのチャージが対象です。

■参考

その他のチャージ：<http://point.rakuten.co.jp/edy/charge/>